

# CDラジオカセットレコーダー

## CSD-MV20B

### 取扱説明書/保証書

**警告** 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。  
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

## 目次

|                          |   |
|--------------------------|---|
| 安全上のご注意 .....            | 2 |
| 電池(別売り)についての安全上のご注意..... | 4 |
| BLUETOOTH®機器について.....    | 4 |
| 使用上のご注意 .....            | 5 |
| 梱包内容の確認 .....            | 5 |

|                                 |    |
|---------------------------------|----|
| <b>&lt; 使用方法是このページからです &gt;</b> |    |
| 電源を準備する .....                   | 6  |
| 各部名称 .....                      | 7  |
| 電源を入れる .....                    | 8  |
| CDについて .....                    | 9  |
| CDを聞く .....                     | 10 |
| その他の方法でCDを聞く .....              | 12 |
| レンズのお手入れ .....                  | 13 |
| ラジオを聞く.....                     | 14 |
| BLUETOOTH機器を再生する .....          | 16 |
| テープについて.....                    | 17 |
| テープを聞く.....                     | 18 |
| テープに録音する .....                  | 19 |
| マイク(市販品)を使ってカラオケなどを楽しむ.....     | 21 |

|                    |     |
|--------------------|-----|
| 故障かなと思ったら .....    | 24  |
| 主な仕様 .....         | 26  |
| 保証書とアフターサービス ..... | 27  |
| 製品保証書.....         | 裏表紙 |

# 安全上のご注意

火災や感電などによる人身事故を防ぐため、次のことを必ずお守りください。

## 安全のための注意事項を守る

注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

## 故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはアイワの相談窓口にて修理をご依頼ください。

## 万一、異常が起きたら

電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはアイワの相談窓口にて修理を依頼してください。

### 警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



**危険**

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。



**警告**

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



**注意**

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

#### 行為を禁止する記号



禁止 分解禁止 接触禁止 ぬれ手禁止

#### 行為を指示する記号



プラグをコンセントから抜く 指示

## 危険



禁止

### 可燃ガスのエアゾールやスプレーを使用しない

清掃用や潤滑油などの可燃性ガスを本機に使用すると、モーターやスイッチの接点、静電気などの火花、高温部品が原因で引火し、爆発や火災が発生する恐れがあります。

## 警告



禁止

### 内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。

万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはアイワの相談窓口にてご相談ください。



禁止

### 電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはアイワの相談窓口にて交換をご依頼ください。



禁止

### 湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や直射日光のあたる場所には置かない

火災や感電の原因となることがあります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。



禁止

### 海外では使用しない

交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。



接触禁止

### 雷が鳴りだしたら、アンテナや電源プラグに触れない

感電の原因となります。ロッドアンテナ付き製品を屋外で使用中に、遠くで雷が鳴りだしたときは、落雷を避けるため、すぐにアンテナをたたんで使用を中止し、その後は触れないでください。



ぬれ手禁止

### ぬれた手で電源プラグにさわらない

感電の原因となることがあります。



禁止

### 通風孔をふさがない

布をかけたり、壁などに密接して置いて、通風孔をふさがないでください。過熱して火災や感電の原因となることがあります。



注意



分解禁止

### 分解・修理・改造はしない

感電・火災の原因となります。内部点検・調査及び修正はお買い上げ店またはアイワの相談窓口にご依頼ください。



プラグをコンセントから抜く

### 移動させるとき、長時間使わないときは、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだまま移動させると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。長期間の外出・旅行のときは安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。差し込んだままにしていると火災の原因となることがあります。



プラグをコンセントから抜く

### お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



禁止

### 安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。また、置き場所、取り付け場所の強度も十分に確認してください。



禁止

### 大音量で長時間つづけて聞きすぎない

大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くとときにご注意ください。



禁止

### 幼児の手の届かない場所に置く

CDぶたなどに手をはさまれ、けがの原因となることがあります。お子さまがさわらぬようにご注意ください。



禁止

### 特定の状況下では、ワイヤレス機能を使用しない

本機はワイヤレス機能を内蔵しています。

以下の点に注意してご使用いただき、障害などが発生した場合には、本機のワイヤレス機能を使用しないようにしてください。

また、緊急の場合には、ただちに本機の電源を切ってください。

- 病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くでは使用しない。  
電波が影響を及ぼし、医療用電気機器の誤動作による事故の原因となるおそれがあります。
- 航空機の機内ではワイヤレス機能を使用しない。  
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。ワイヤレス機能の航空機内でのご利用については、ご利用の航空会社に使用条件などをご確認ください。
- 本製品を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は、ただちに使用をやめる。  
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。



指示

### 本機は、国内専用です

海外では国によって電波使用制限があるため、本機を使用した場合、罰せられることがあります。

## 電池(別売り)についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

本機では以下の電池(別売り)をお使いいただけます。電池の種類については、電池本体上の表示をご確認ください。

### 乾電池

アルカリ、マンガン

#### **危険** 乾電池が液漏れしたとき

##### 乾電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない

液が本体内部に残ることがあるため、アイワの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。

液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。

液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

#### **警告**

- 小さい電池は飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届くところに置かない。万が一飲み込んだ場合は、窒息や胃などへの障害の原因になるので、直ちに医師に相談する。
- 機器の表示に合わせて+と-を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
- 液漏れした電池は使わない。
- 使い切った電池は取りはずす。長時間使用しないときも取りはずす。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

#### **注意**

- 火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしない。
- 指定された種類以外の電池は使用しない。

## BLUETOOTH®機器について

### 機器認定について

本機は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、認証を受けています。したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。

ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。

- 本機を分解/改造すること

### 周波数について

本機は2.4 GHz帯の2.4000 GHzから2.4835 GHzまで使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、次の事項に注意してご使用ください。

#### 本機の使用上の注意事項

本機の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
3. 不明な点その他お困りのことが起きたときは、アイワの相談窓口までお問い合わせください。アイワの相談窓口については、製品保証書をご覧ください。

**2.4 FH1** この無線機器は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は10 mです。

## 使用上のご注意

### 設置場所について

- 本機のスピーカーには強力な磁石を使用しています。キャッシュカードやクレジットカードなどの磁気カード類、カセットテープなどの磁気テープ類、時計など磁気に変化して不具合が起きることがありますので近づけないでください。
- テレビやチューナーなどの近くには置かないでください。雑音や画像が乱れることがあります。
- 本機は防水仕様ではありません。風呂場など湿気の多い場所で使用・保管しないでください。
- ヒーターなど熱を発生する器具の近くには置かないでください。外装が変形したり、故障を引き起こす恐れがあります。
- 寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなど、表面や内部に水滴(結露)がつくことがあります。結露が起きたときの使用は、故障の原因となる場合がありますので電源を切って結露がなくなるまで暖かいところで放置し、結露がなくなってからご使用ください。
- 使用しないときは、レンズにほこりがかからないようにCD蓋を閉めてください。

### 録音について

- 録り直しの効かない録音の場合は、必ず事前に試し録りをしてください。
- 本機の不具合により、録音や再生ができなかった場合、および録音内容が破損または消去された場合など、いかなる場合においても録音内容の補償についてはご容赦ください。  
また、いかなる場合においても当社にて録音内容の修復、復元、複製などはいたしません。
- 本機を使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益および第三者からのいかなる請求につきましても当社は一切その責任を負いかねます。

### 著作権について

- お客様が録音したものに著作物となるものが含まれている場合、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

### 音量について

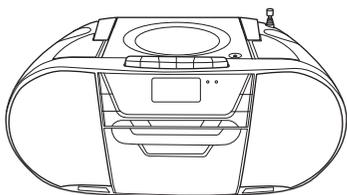
- 音源の録音レベルの違いによりラジオ/CD再生時の音量と異なる場合があります。

### ヘッドホン(別売)使用時のご注意

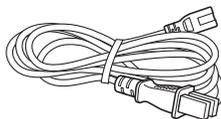
- 音量を調節して耳を刺激しないように適度な音量で聞いてください。

## 梱包内容の確認

本機を箱から出したら、以下の付属品があることを確認してください。



本機



電源コード

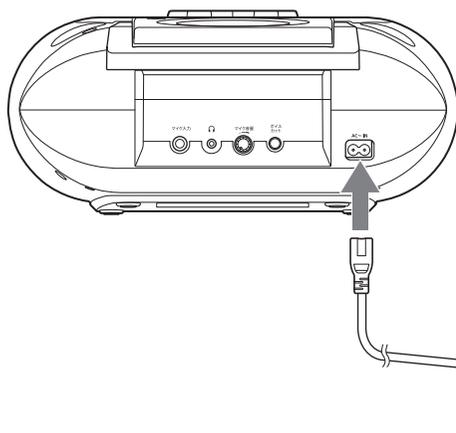


取扱説明書/保証書(本書)

# まずはじめに

## 電源を準備する

### コンセントに電源コードを接続する



本体背面のAC IN端子へ  
付属の電源コードを差し込み、  
逆側を壁のコンセントへ  
差し込みます。

カバーを外して  
プラグを壁のコンセントへ

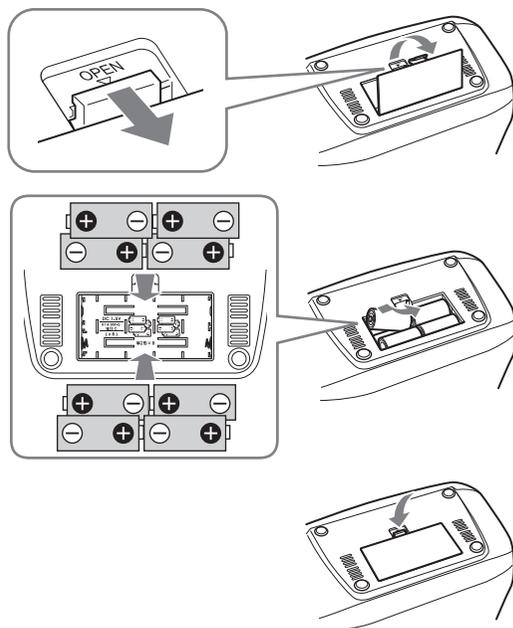
### 乾電池(別売り)を使う場合

- 乾電池でご使用になる場合は電源コードを取り外してください。
- 長時間ご使用になるときや大切な録音をするときは、付属の電源コードをご使用ください。
- 乾電池が消耗してくると、正常に動作しない、音が小さいなどの症状が発生しますので、このようなときは新しい乾電池と交換してください。

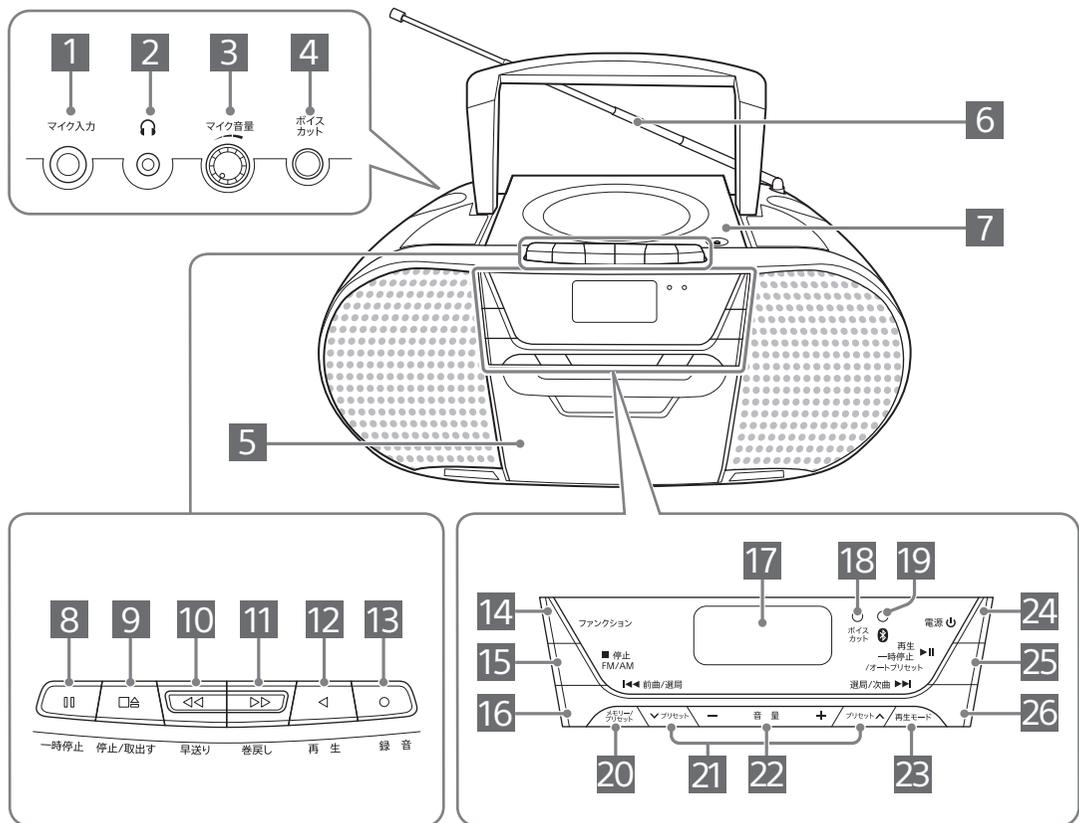
1. 本体底面の電池ふたのツメ(「OPEN ▼」の表示がある箇所)を押しながら開ける。

2. 単2形乾電池8本(別売り)を入れる。  
必ず一側から、+と-を正しく入れてください。

3. 電池ふたをしっかりとめ込む。



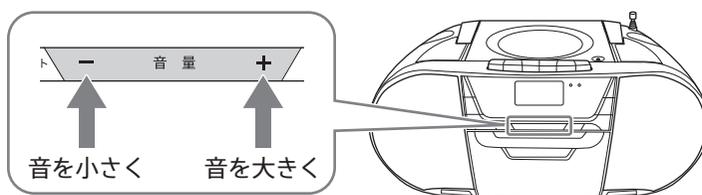
# 各部名称



- 1 マイク入力端子
- 2 ヘッドホン端子
- 3 マイク音量ダイヤル
- 4 ボイスカットボタン
- 5 テープホルダー
- 6 FMアンテナ
- 7 ディスクトレイ
- 8 **||** (一時停止) ボタン
- 9 **■▲** (停止/取出す) ボタン
- 10 **◀◀** (早送り) ボタン
- 11 **▶▶** (巻戻し) ボタン
- 12 **◀** (再生) ボタン
- 13 **●** (録音) ボタン
- 14 ファンクションボタン
- 15 **■** (停止) /FM/AMボタン
- 16 **◀◀** (前曲) /選局ボタン
- 17 ディスプレイ
- 18 ボイスカットランプ
- 19 BLUETOOTHランプ
- 20 メモリー/プリセットボタン
- 21 プリセット **▲** / **▼** ボタン
- 22 音量 **+** / **-** ボタン
- 23 再生モードボタン
- 24 電源ボタン
- 25 **▶||** (再生/一時停止) /オートプリセットボタン
- 26 **▶▶** (次曲) /選局ボタン

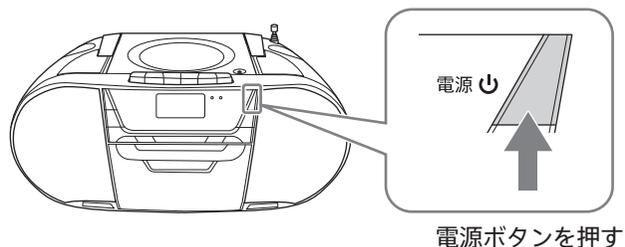
## 音量を調節するには

音量+/-ボタンを押すと、音量を調節できます。



## 電源を入れる

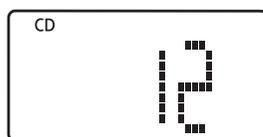
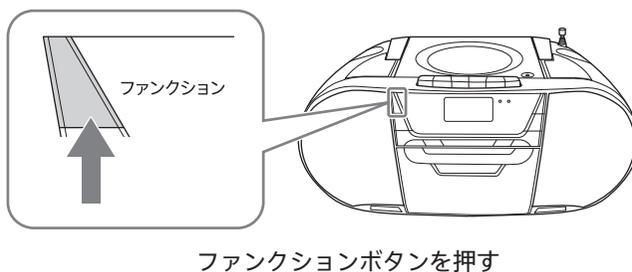
電源ボタンを押すと、ディスプレイのバックライトが点灯して電源オンになります。



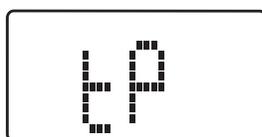
電源ボタンをもう一度押すと、電源がオフになります。

## 機能を切り替えるには

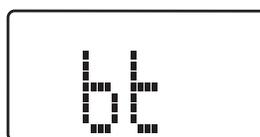
お買い上げ時の設定では、電源が入るとCD機能の画面が表示されます。ファンクションボタンを押すと機能が切り替わります。



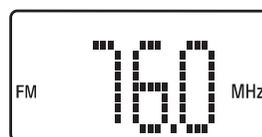
CD画面 (CD装着時)



テープ画面



BLUETOOTH画面



FM画面

## CDについて

### CDの種類について

- 本機では円形ディスクのみお使いいただけます。円形以外(星型、ハート型、カード型など)の特殊な形状をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。

- Dual Disc\*の再生はできません。

\* Dual DiscはDVD規格に準拠した面と音楽専用とを組み合わせた両面ディスクです。

### CD-R/CD-RWについて

- 本機は、CD-DAフォーマット\*で記録されたCD-R (レコーダブル)およびCD-RW (リライタブル)ディスクを再生することができます。ただし、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によって再生できない場合があります。

\* CD-DAはCompact Disc Digital Audioの略で、一般オーディオCDに使用されている、音楽収録用の規格です。

- 本機は、CD再生専用です。CD-R/CD-RWに録音はできません。
- ファイナライズ処理(CD-R/CD-RW対応のCDプレーヤーで再生できるようにする処理)していないディスクは再生できません。

### 著作権保護技術付き音楽ディスクについて

- 本機は、コンパクトディスク(CD)規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本機で再生できない場合があります。

### CDのお手入れのしかた

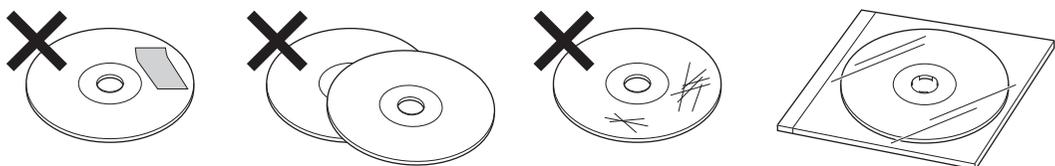
- 指紋やほこりによるCDの汚れは、音質低下の原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- ふだんのお手入れは、柔らかい布でCDの中心から外の方へ軽く拭きます。汚れがひどいときは、水で少し湿らせた布で拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などはCDを傷めることがありますので、使わないでください。



柔らかい布で拭く

### CDの保管について

- CDに紙やシールを貼らない。
- 重ねた状態で放置せずにケースに入れて保管する。
- 直射日光の当たるところ、暖房器具の近くなど温度が高くなる場所には置かない。



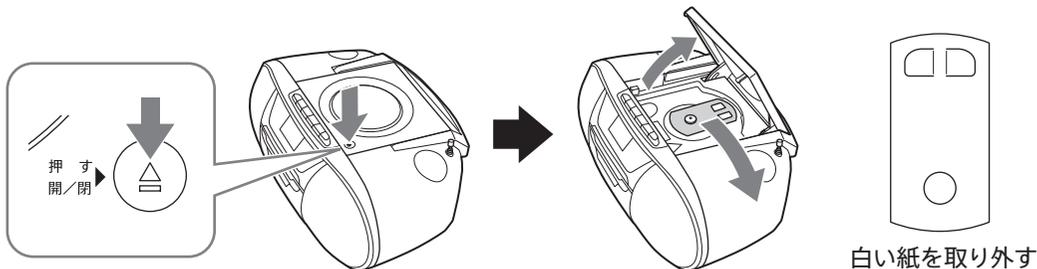
ケースに入れて保管

## CDを聞く

### 1. ▲ (開/閉) を押してディスクトレイを開ける。

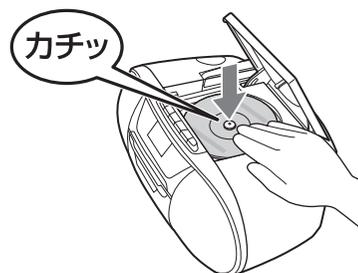
トレイは無理に大きく開けようとししないでください。トレイが破損するおそれがあります。ご使用前に、必ず白い紙を取り外してください。

- 取り外した紙は、破棄していただいてもさしつかえありません。

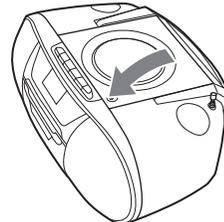


### 2. CDの印刷面を上にして、「カチッ」と音がするまで入れる。

CDはしっかりと装着してください。再生中にカラカラと音が鳴って、正常に作動しない場合があります。

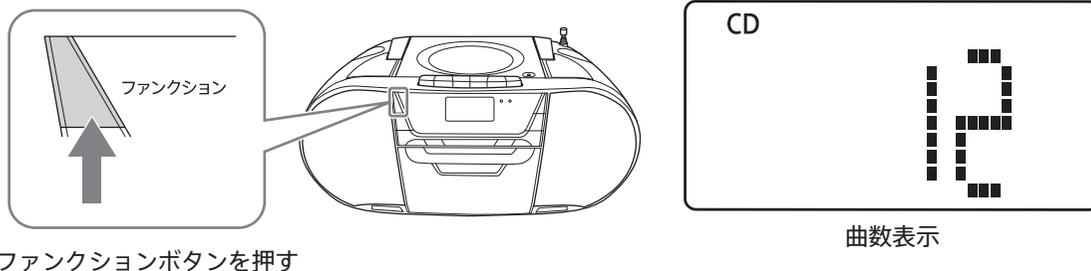


### 3. ディスクトレイを押して閉じる。



### 4. ファンクションボタンを押して「CD」に切り替える。

CDの読み込みが始まり、ディスプレイに曲数が表示されます。

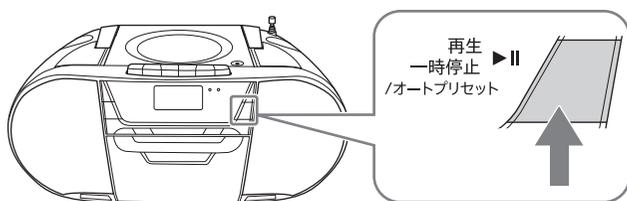


#### CDの再生時間の表示について

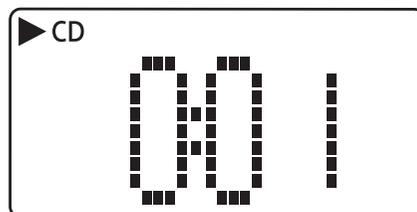
- 本機は、1曲の再生時間の表示が29分59秒までとなりますが、30分を超える曲でも再生には問題ありません。

## 5. ▶|| (再生/一時停止) ボタンを押す。

1曲目から再生が始まります。



▶|| (再生/一時停止) ボタンを押す



再生を開始

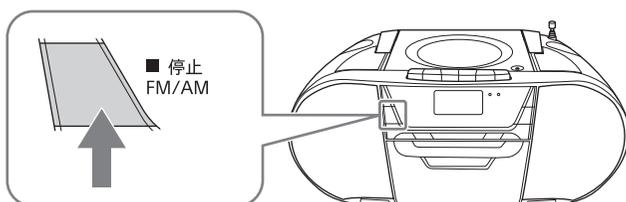
### 再生中に曲を一時停止するには

▶|| (再生/一時停止) ボタンを押します。

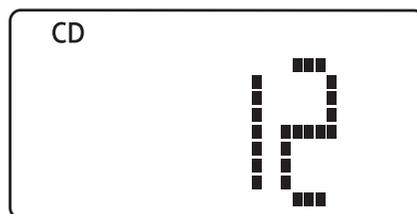
再生を再開するには、もう一度 ▶|| (再生/一時停止) ボタンを押します。

### 再生を停止するには

再生中に ■ (停止) ボタンを押します。



■ (停止) ボタンを押す

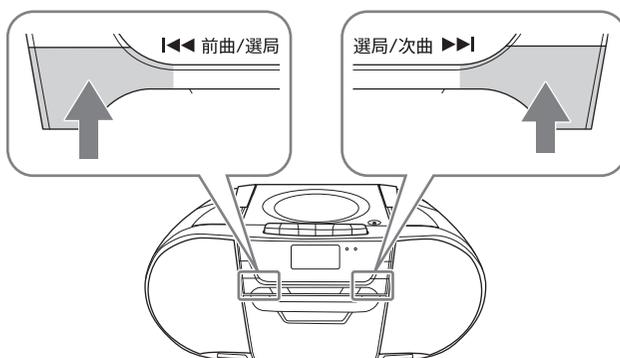


曲数表示に戻る

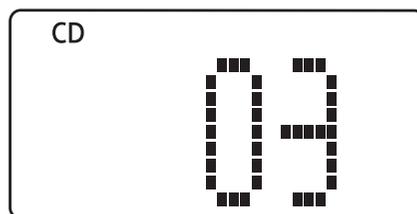
### 曲を送る/戻すには

▶| (次曲) / |◀ (前曲) ボタンをくり返し押して、お好みの曲番号を選択します。

停止中に操作した場合は、▶|| (再生/一時停止) ボタンを押すと選択した曲からCDを再生します。



▶| (次曲) / |◀ (前曲) ボタンを押す

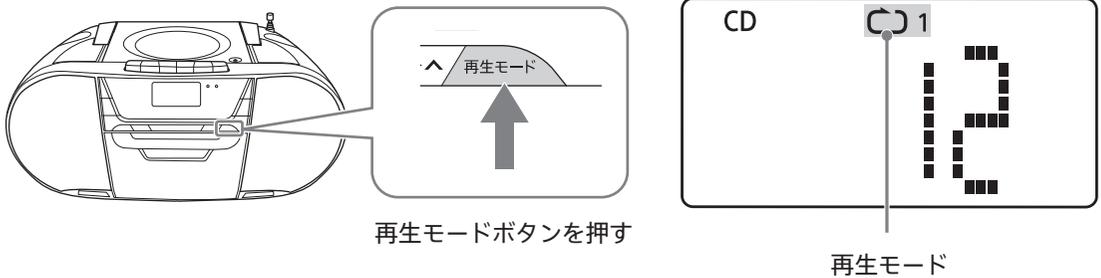


曲番号

## その他の方法でCDを聞く

### リピート/ランダム再生をする

再生モードボタンを押すたびに、再生モードが以下のように切り替わります。

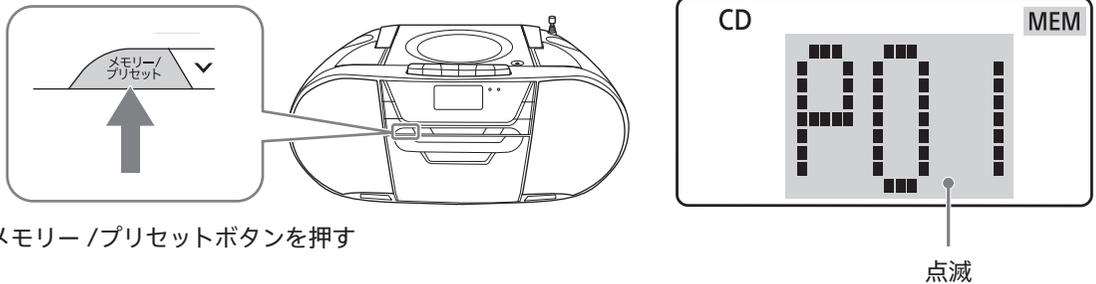


| 再生モード  | 動作             | ディスプレイ表示 |
|--------|----------------|----------|
| 1曲リピート | 再生中の曲をリピートします。 | C 1      |
| 全曲リピート | CD全体をリピートします。  | C ALL    |
| ランダム   | ランダムに再生します。    | RAN      |
| 通常再生   | 通常の再生モードです。    | (表示なし)   |

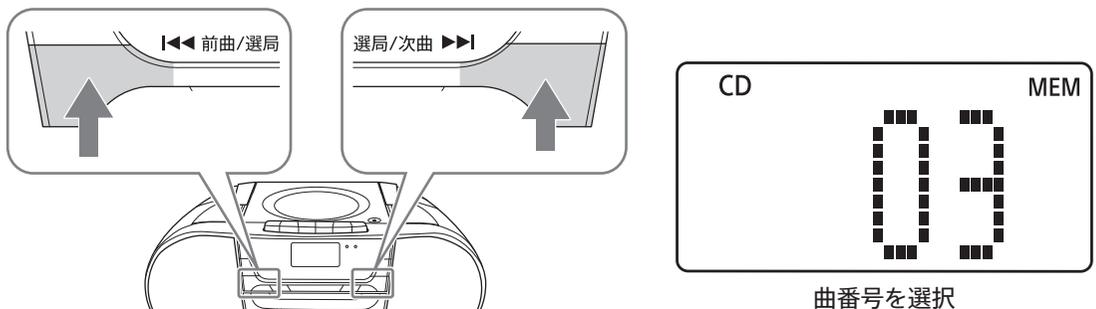
### プログラム再生をする

#### 1. メモリー / プリセットボタンを押す。

「P01」「MEM」が点滅し、プログラム設定モードに入ります。



#### 2. ▶▶ (次曲) / ◀◀ (前曲) ボタンを押して曲を選ぶ。

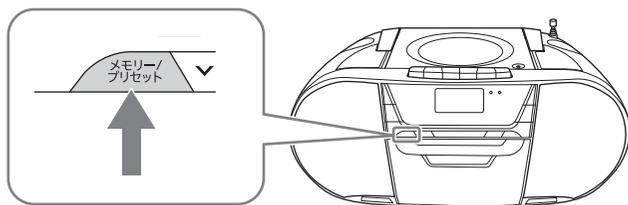


▶▶ (次曲) / ◀◀ (前曲) ボタンを押す

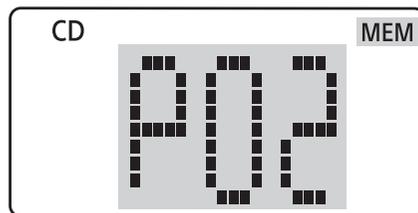
### 3. メモリー / プリセットボタンを押す。

選択した曲がプログラムに設定され、次の曲を選択する画面になります。最大20曲まで設定できます。

続いてプログラムを設定するには、手順2～3をくり返します。



メモリー / プリセットボタンを押す



次の曲の選択画面

### 4. ▶|| (再生 / 一時停止) ボタンを押す。

プログラム再生モードに切り替わり、設定したプログラムの曲順でCDを再生します。

### プログラム再生から通常再生に戻るには

再生中に ■ (停止) ボタンを押すと、プログラム再生を停止します。

もう一度 ■ (停止) ボタンを押すと、プログラムが解除されます。

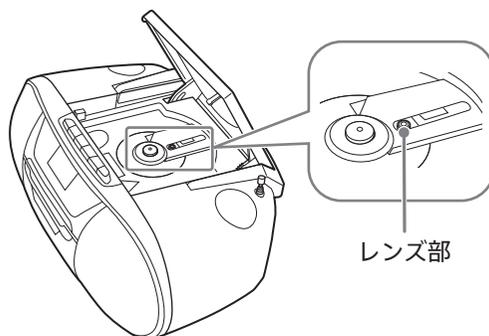
## レンズのお手入れ

市販品のレンズクリーナーで汚れを取り除いてください。

詳しい使用方法はレンズクリーナーの取扱説明書などをご覧ください。

### 注意

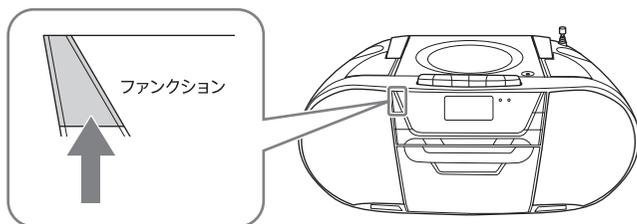
- レンズには指紋や汚れをつけないようにしてください。



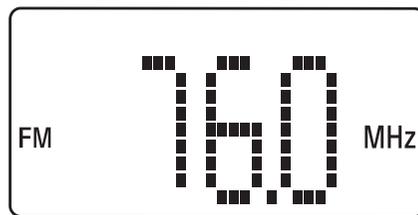
# ラジオを聞く

## 1. ファンクションボタンを押して「FM」に切り替える。

AM放送を聞く場合は、FM/AMボタンを押して「AM」に切り替えます。



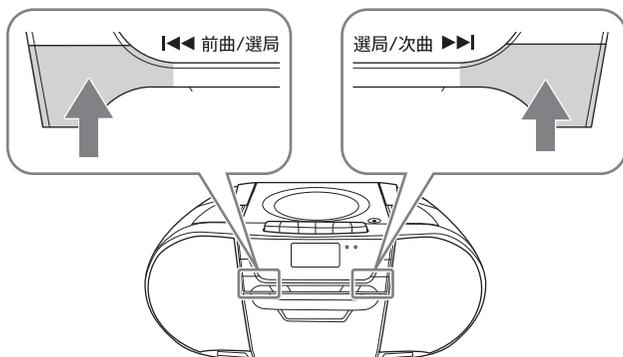
ファンクションボタンを押す



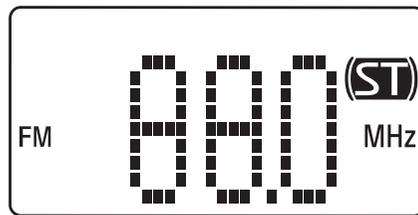
FM画面

## 2. ▶▶/◀◀ (選局) ボタンを押して周波数を変更し、放送局を選択する。

▶▶/◀◀ (選局) ボタンを2秒以上長押しして、自動的に放送局をスキャンすることもできます。



▶▶/◀◀(選局) ボタンを押す



周波数を変更

## 受信状態を良くするには

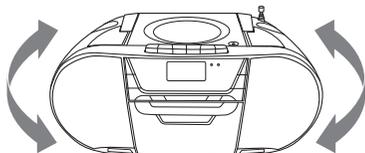
受信状態が悪いなど、ラジオ放送がうまく受信できないときは、ラジオの向きやアンテナの長さや角度を調節してください。室内でラジオをお使いの時は、窓際などの方が良く受信できます。

### AM放送の場合

AMアンテナは本体に内蔵されています。本機を動かして、受信状態が最も良い向きを探してください。

室内の場合、窓際の方が良く受信できます。

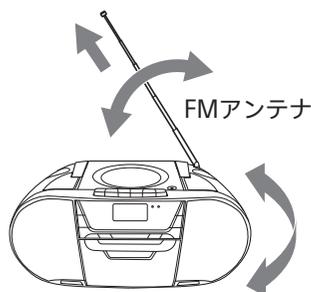
※FMアンテナを伸ばしてもAM放送の受信感度は向上しません。



### FM放送の場合

FMアンテナを伸ばして、長さや方向、角度を変えて受信状態が最も良くなるように調節してください。

FMステレオ放送を良好な状態で受信すると、FMステレオランプが点灯します。



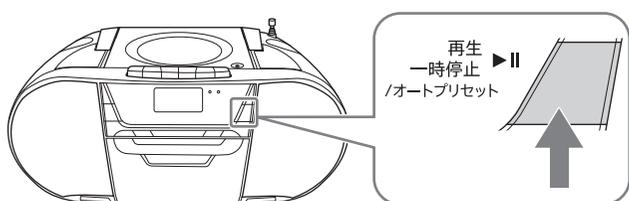
## 放送局を登録する

よく聞く放送局を登録できます (FM : 最大20局、AM : 最大10局)。

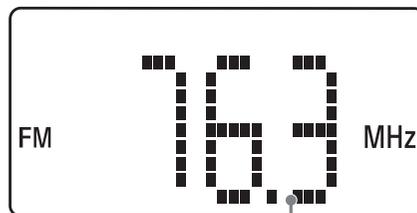
### 自動的に登録するには

オートプリセットボタンを1秒以上長押しします。

聞くことのできる放送局が自動的にスキャンされ、登録されます。



オートプリセットボタンを押す



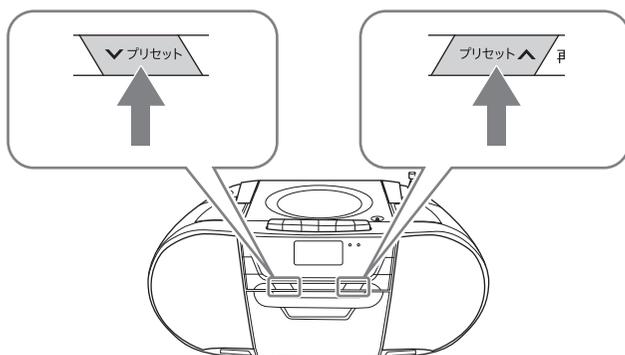
スキャンを開始

### 手動で登録するには

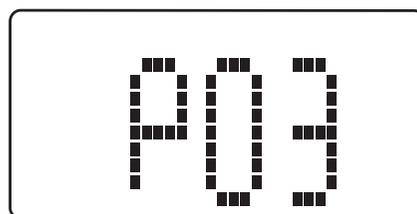
1. 登録する放送局を選局する。
2. メモリー / プリセットボタンを長押しする。
3. プリセット  $\wedge$  /  $\vee$  ボタンまたは  $\blacktriangleright\blacktriangleright$  (次曲) /  $\blacktriangleleft\blacktriangleleft$  (前曲) ボタンを押して、登録する番号を選択する。
4. メモリー / プリセットボタンを押す。

### 登録した放送局を選ぶには

プリセット  $\wedge$  /  $\vee$  ボタンを押して、登録した番号を選択します。



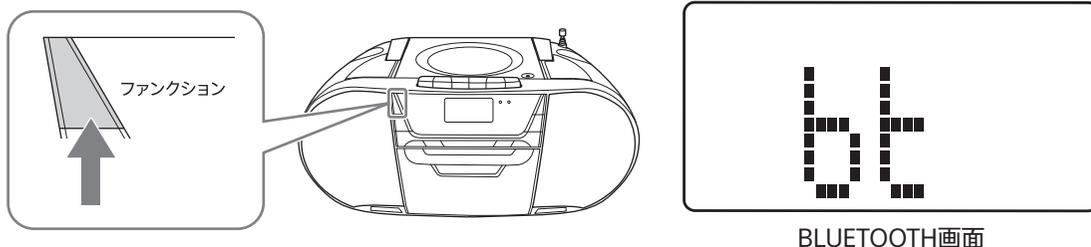
プリセット  $\wedge$  /  $\vee$  ボタンを押す



登録した番号を選択

## BLUETOOTH機器を再生する

1. ファンクションボタンを押して「bt」に切り替える。  
BLUETOOTHランプが点滅し、本機がペアリングモードに切り替わります。



ファンクションボタンを押す

2. BLUETOOTH機器のBLUETOOTH機能をオンにして、本機とペアリングする。  
本機は「CSD-MV20B」と表示されます。  
ペアリングが完了するとBLUETOOTHランプが点灯します。  
一度ペアリングした機器は、本機がBLUETOOTHモードに入ると、自動でBLUETOOTH接続できます。

3. BLUETOOTH機器を操作して、曲を再生する。  
本機の▶|| (再生/一時停止) ボタンを押しても再生できます。

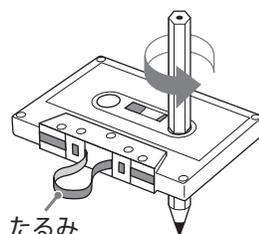
### 注意

- BLUETOOTH機器の詳しい操作は、機器の取扱説明書などをご覧ください。

## テープについて

### 操作をする前に以下をご確認ください

- 本機ではノーマルテープ (TYPE I) をお使いください。  
ハイポジション (TYPE II) やメタル (TYPE IV) のテープには対応していません。
- テープが巻き込まれて故障の原因となることがありますので、鉛筆などでたるみを巻き取ってからご使用ください。
- 90分を超える長時間テープは通常のテープに比べて非常に薄く伸びやすいため、機械に巻き込まれるなどトラブルの原因となりますので、本機でのご使用はおすすめできません。60分以下のノーマルテープをご使用ください。
- エンドレステープは使用できません。

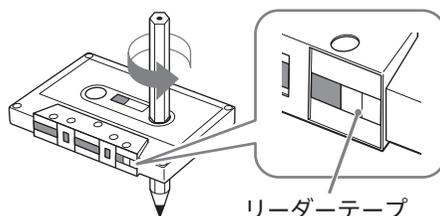


### 劣化していないテープ、汚れのないテープをお使いください

- カセットテープケースの変形や歪み、長期間のご使用でテープが劣化しテープに波打ち・伸びがある場合は、ピンチローラーにテープが絡むことがあり、テープ切れなどの原因となります。
- テープの汚れがひどくなるとヘッドに付着し、音が小さい・音が途切れる・音が出ないなどの症状が出て、きれいな音で再生や録音ができなくなり、故障の原因となります。

### 録音時の頭切れを防ぐために

- テープの両端には「リーダーテープ」と呼ばれる録音できない部分があります (磁性性が塗られていない透明または乳白色の部分です)。  
録音時の頭切れを防ぐため、「リーダーテープ」部分を鉛筆などで送ってからテープを入れてください。



### 大切な録音をするときは

- 乾電池使用の状態では録音すると電池残量が足りずに録音できないことがありますので、付属の電源コードをご使用ください。

### テープに録音した内容を消去しないために

- ツメを折ると録音できなくなるので、誤って録音内容を消去してしまうミスを防げます。
- ツメを折ったカセットテープにもう一度録音する場合は、ツメを折った穴をセロハンテープなどでふさぐことで録音できます。

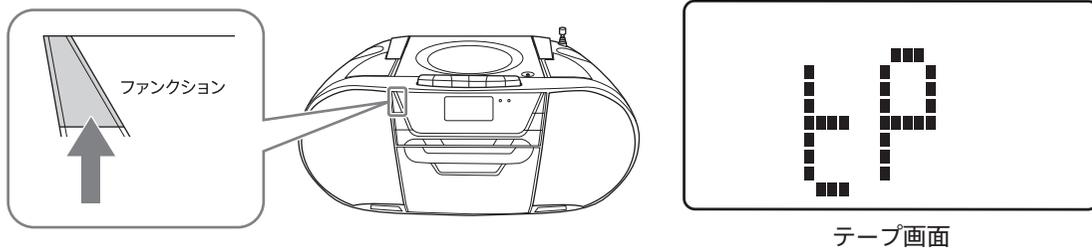


#### 注意

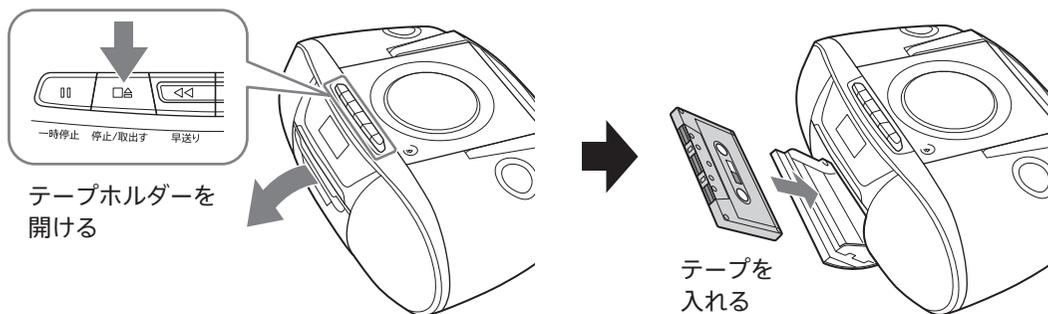
- 折ったツメが誤って製品内部に入ると故障の原因となりますので、必ず廃棄してください。

# テープを聞く

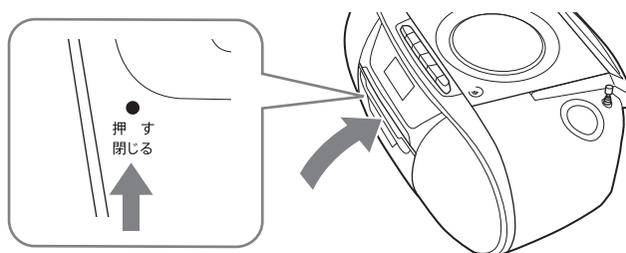
1. ファンクションボタンを押して「tP」に切り替える。



2.  (停止/取出す) ボタンを押してテープホルダーを開け、テープを入れる。

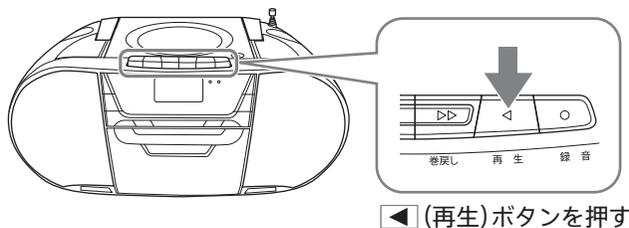


3. テープホルダーの「押す/閉じる」を押して閉める。



4.  (再生) ボタンを押す。

再生が始まります。



停止するには  (停止/取出す) ボタンを押します。  
また、テープが終わると自動で再生を停止します。

## 早送り/巻戻しをするには

◀◀ (早送り) / ▶▶ (巻戻し) ボタンを押して、お好みのときに ■▲ (停止/取出す) ボタンを押します。

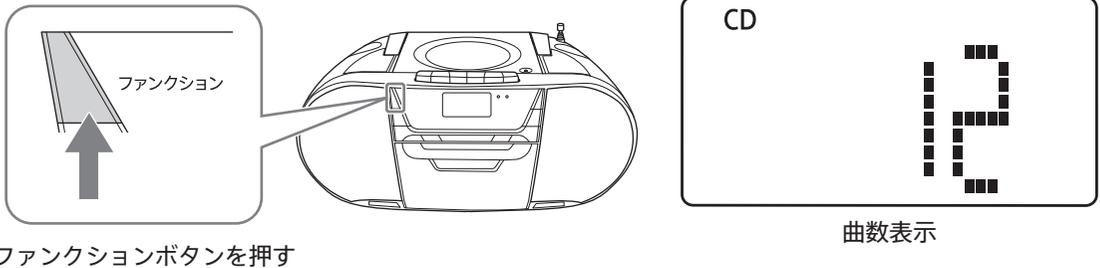
### 注意

- 本機では、60分以下のノーマルテープをご使用ください。

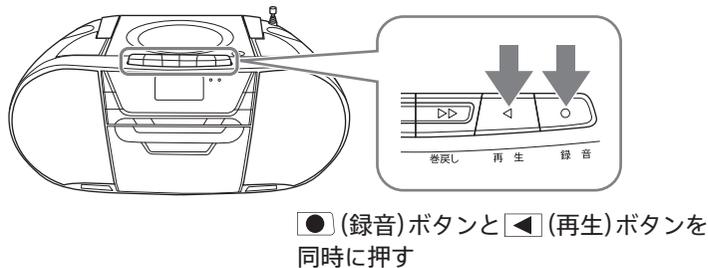
## テープに録音する

### CDの曲を録音する

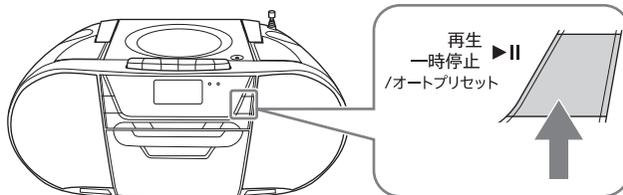
1. CDをディスクトレイに入れ、ファンクションボタンを押して「CD」に切り替える。  
CDの読み込みが始まり、ディスプレイに曲数が表示されます。



2. CDのお好みの曲を選択し、● (録音) ボタンと ◀ (再生) ボタンを同時に押す。



3. ▶|| (再生/一時停止) ボタンを押し、CDを再生する。

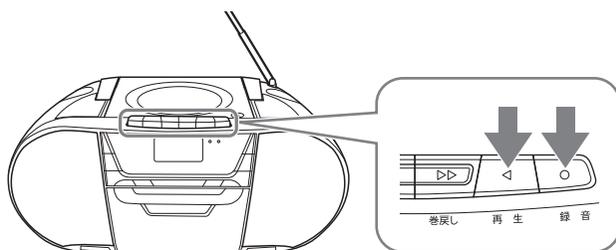


録音を停止するには ■▲ (停止/取出す) ボタンを押します。

## ラジオ放送を録音する

ファンクションボタンとFM/AMボタンを押して好みの放送局を選択し、**●** (録音) ボタンと **◀** (再生) ボタンを同時に押します。

録音を停止するには **■▲** (停止/取出す) ボタンを押します。

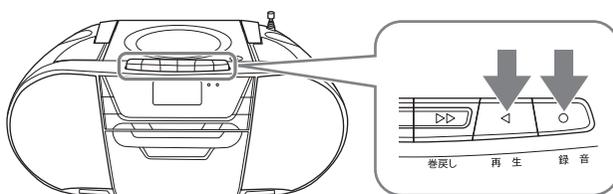


**●** (録音) ボタンと **▶** (再生) ボタンを同時に押す

## BLUETOOTH機器の音源を録音する

ファンクションボタンを押して「bt」に切り替え、BLUETOOTH機器と接続したあと、**●** (録音) ボタンと **▶** (再生) ボタンを同時に押します。

録音を停止するには **■▲** (停止/取出す) ボタンを押します。

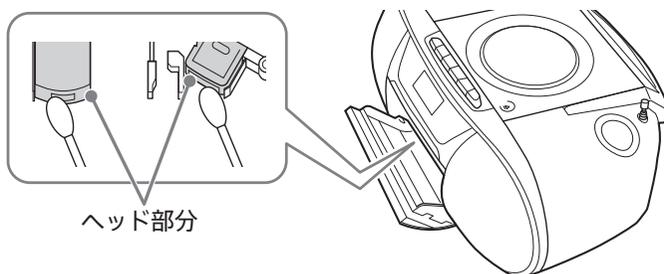


**●** (録音) ボタンと **▶** (再生) ボタンを同時に押す

## 録音/再生および消去ヘッドのクリーニング

テープと接触する面の汚れは、雑音・音が小さい・音が途切れるなどの原因となりますので、定期的(ご使用時間で約20時間を目安)にクリーニングをしてください。

お手入れは綿棒(市販品)にクリーニング液(市販品)を含ませて、ヘッド部分の汚れを拭いてください。



### 注意

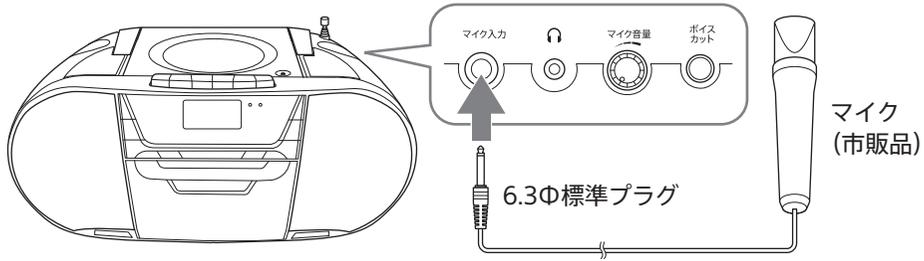
- クリーニング液が完全に乾いてからテープを入れてください。

## マイク(市販品)を使ってカラオケなどを楽しむ

マイク(市販品)を接続してスピーカーからマイクの音声を出すことができます。CDを再生しながらカラオケを楽しんだり(22ページ)、CD音源と歌をテープに録音したり(23ページ)することもできます。

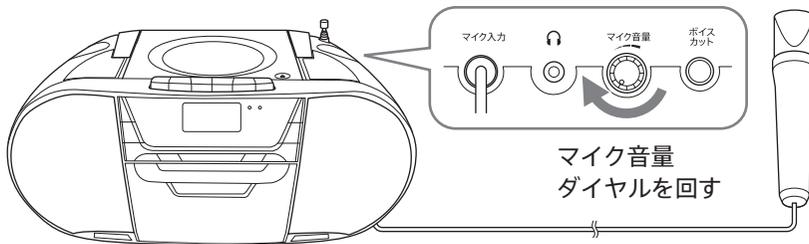
### マイクを接続する

背面のマイク入力端子にマイク(市販品)を接続してください。



### マイクの音量を調節するには

マイクのスイッチを入れてから、背面のマイク音量ダイヤルを回します。時計回りにダイヤルを回すと音量が大きくなります。

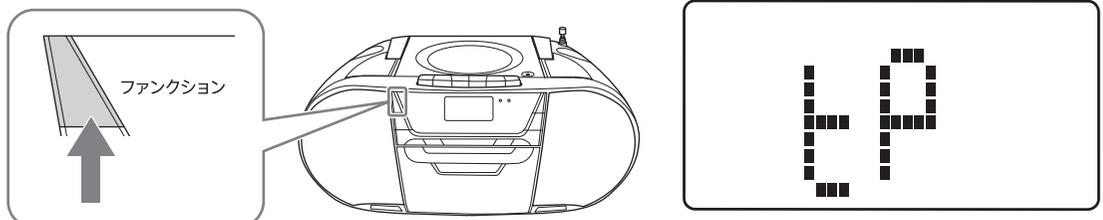


### 注意

- 突然大きな音が鳴って驚かないよう、マイクと本体の音量を下げてからマイクのスイッチを入れてください。
- マイク音量ダイヤルと本体の音量+/-ボタンで、実際に声を出して音量を確認しながら調整してください。
- マイクを使用中にハウリング(キーンという音)が起きたら、マイクをスピーカーから離すか、音量を下げてください。

### マイクの音声のみを出力する

マイク入力端子にマイクを接続し、ファンクションボタンを押して「tp」に切り替えると、スピーカーからマイクの音声を出力することができます。



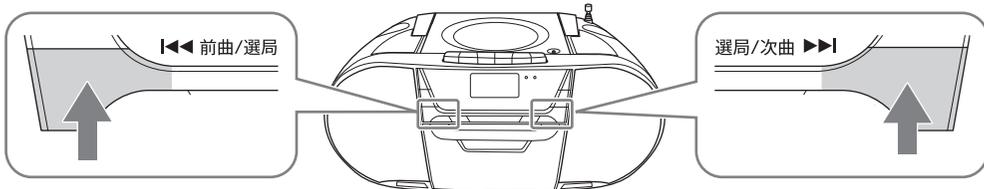
ファンクションボタンを押す

テープ画面

## CDでカラオケを楽しむ

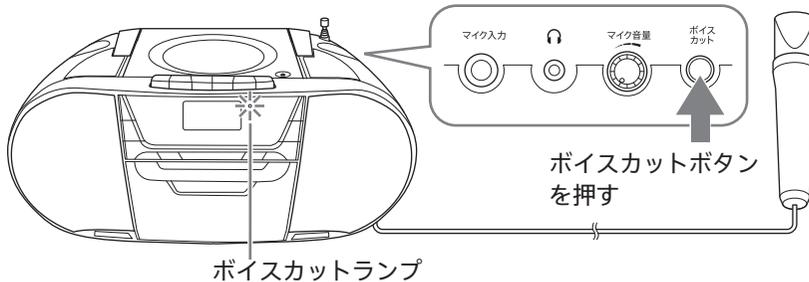
CDの音源を再生しながら、マイクの音声を出力してカラオケを楽しむことができます。

1. マイク入力端子にマイク(市販品)を接続する。  
マイクの接続については21ページをご参照ください。
2. カラオケ音源用のCDをセットする。  
CDのセット方法は10ページをご参照ください。
3. カラオケとして使用する曲を ▶▶ (次曲) / ◀◀ (前曲) ボタンで選択する。



### CDのボイスをカットするには

背面のボイスカットボタンを押すたびに、ボイスカットのオン/オフが切り替わります。ボイスカットがオンのときは、ボイスカットランプが点灯します。



#### 注意

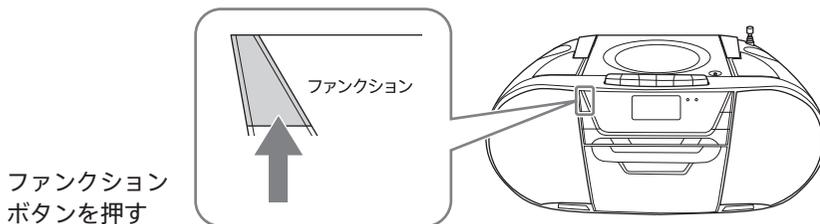
- CD以外の音源を再生しているときは、ボイスカット機能は動作しません。
- 歌手の音域および音源によって、歌声が十分に小さくならないことがあります。

4. マイク(市販品)のスイッチを入れて ▶▶ (再生/一時停止) ボタンを押す。  
再生が始まりますのでカラオケをお楽しみください。

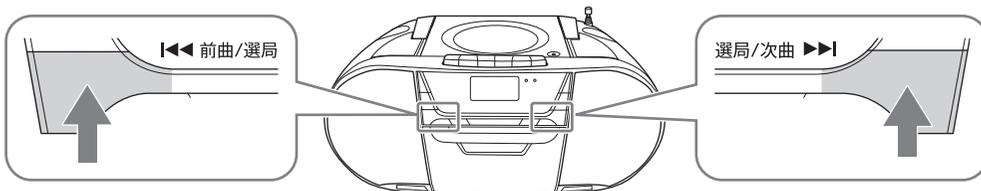
## カラオケと歌をカセットテープに録音する

CDの音源とマイクの音声をテープに録音できます。

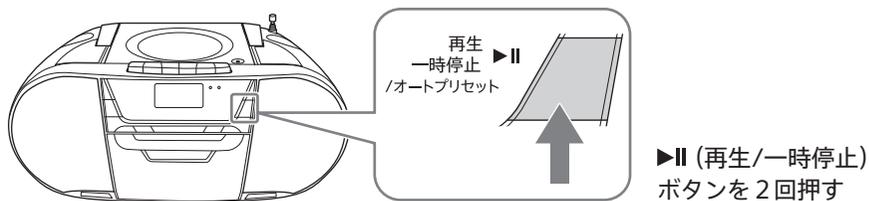
1. マイク(市販品)、カラオケCD、録音用のカセットテープをセットする。  
マイクの接続方法は21ページ、CDのセット方法は10ページ、カセットテープのセット方法は18ページをご参照ください。
2. ファンクションボタンを押して「CD」に切り替える。



3. カラオケとして使用する曲を ▶▶ (次曲) / ◀◀ (前曲) ボタンで選択する。

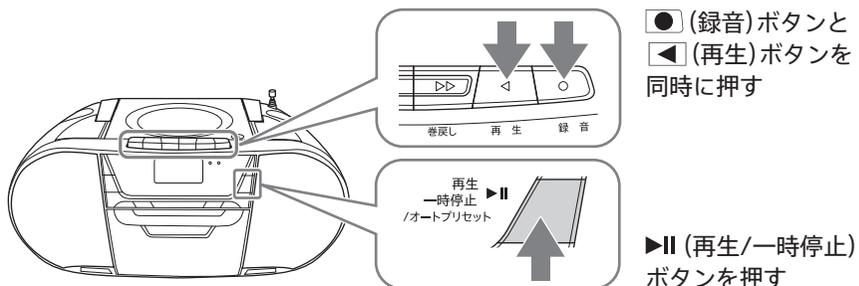


4. ▶▶ (再生/一時停止) ボタンを2回押して一時停止状態にする。



5. ● (録音) ボタンと ◀ (再生) ボタンを同時に押してから、▶▶ (再生/一時停止) ボタンを押す。

テープの録音とCDの再生が始まります。



録音を停止するには ■▲ (停止/取出す) ボタンを押します。

## 故障かなと思ったら

| 症 状                              | ご確認ください   |
|----------------------------------|---|
| 電源が入らない                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>→電源コードがAC IN端子とコンセントにしっかりと差し込まれていますか。</li> <li>→乾電池で使う場合、乾電池が正しい方向で入っていますか。</li> <li>→乾電池で使う場合、乾電池が消耗していませんか。</li> <li>→乾電池で使う場合、電源コードをAC IN端子から抜いていますか。</li> </ul>  |
| 音が出ない                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>→ファンクションボタンで正しい音源を選択していますか。</li> <li>→ヘッドホン端子にヘッドホンが差し込まれていませんか。</li> <li>→音量が最小になっていませんか。</li> <li>→CDやカセットテープの再生が一時停止状態になっていませんか。</li> <li>→マイクを使う場合、正しく接続されていますか。</li> <li>→マイクを使う場合、マイク音量が最小になっていませんか。</li> <li>→ボイスカットランプが点灯していませんか。</li> </ul> |
| 雑音が入る                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>→近くで携帯電話など電波を発するものを使用していませんか。</li> <li>→テレビや蛍光灯の近くでAM放送を受信していませんか。雑音が入ることがあります。また、テレビの近くで本機を使用すると、テレビの画面が乱れることがあります。このようなときは本機をテレビから離してください。</li> </ul>  |
| CDの再生が始まらない<br>CDを入れても「No」と表示される | <ul style="list-style-type: none"> <li>→ディスクトレイのふたが閉まっていますか。</li> <li>→CDの文字のある面を上にしてありますか。</li> <li>→CDまたはレンズがひどく汚れていませんか。</li> <li>→規格外のディスクが入っていませんか。</li> <li>→ファンクションボタンで正しい音源を選択していますか。</li> <li>→CD-R、CD-RWを再生する場合、CDがファイナライズ処理されていますか。</li> </ul>                                   |
| CDの音が飛ぶ                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>→結露状態になっていませんか。</li> <li>→レンズがひどく汚れていませんか。</li> <li>→強い振動を与えていませんか。</li> <li>→CDに大きなキズやひどい汚れはありませんか。</li> <li>→布団の上など、不安定な場所に置いていませんか。</li> </ul>  |
| テープが入らない<br>テープホルダーが閉まらない        | <ul style="list-style-type: none"> <li>→テープの向きが上下逆になっていませんか。テープの見える方を上にして入れてください。</li> <li>→テープが正しく入っていますか。正しく挿入してください。</li> </ul>  |
| テープで再生/録音ができない                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>→ヘッドが汚れていませんか。クリーニング液(市販品)やクリーニングカセット(市販品)等で清掃してください。</li> <li>→古いテープを使用していませんか。テープの伸びや磁気記録の劣化などによって正常に再生されない場合があります。テープを交換してください。</li> </ul>  |

| 症 状   | ご確認ください  |
|---|--|
| <b>テープが走行しない</b>                                      | <p>➔ 不良品のテープを使用していませんか。テープを交換してください。</p> <p>➔ テープが全部巻き取られていませんか。テープの裏表を入れ替えてください。</p>  |
| <b>録音ボタンが押せない</b>                                     | <p>➔ ツメの折れたテープを装着していませんか。テープを取り替えてください。また、録音し直すときは、セロハンテープで誤消去防止穴をふさいでください。</p>  |
| <b>録音ボタンがロックできない</b>                                  | <p>➔ 不良品のテープを使用していませんか。テープを交換してください。</p>   |
| <b>音が途切れる<br/>音程が狂う<br/>消去が不完全</b>                    | <p>➔ ヘッドが汚れていませんか。クリーニング液(市販品)やクリーニングカセット(市販品)等で清掃してください。</p> <p>➔ ハイポジションやメタルテープを使用していませんか。ノーマルテープを使用してください。</p> <p>➔ 乾電池で使う場合、乾電池が消耗していませんか。乾電池が消耗していませんか。</p> <p>➔ 同じテープに何度も録音して使っていませんか。</p> |
| <b>録音ができない</b>  | <p>➔ テープのツメが折れていないか、確認してください。ツメの折れているテープには録音できません。</p>   |
| <b>テープの回転ムラがある</b>                                    | <p>➔ テープがたるんでいませんか。</p> <p>➔ 乾電池で使う場合、乾電池が消耗していませんか。</p>   |
| <b>ペアリング(機器登録)できない<br/>本機とBLUETOOTH機器を<br/>接続できない</b> | <p>➔ 本機とBLUETOOTH機器の距離を1m以内に近づけてください。</p> <p>➔ 本機のファンクションボタンを押してBLUETOOTHモードに切り替えてください。</p> <p>➔ BLUETOOTH機器側の接続機器一覧から本機を一度削除し、もう一度ペアリングしなおしてください。</p>   |
| <b>それでも解決しない時は…</b>                                   | <p>➔ アイワの相談窓口にご相談ください。</p>   |

## 主な仕様

|                      |                      |  |  |
|----------------------|----------------------|--|--|
| <b>CDプレーヤー部</b>      | チャンネル数               | 2チャンネルステレオ   |  |
|                      | サンプリング周波数            | 44.1 kHz   |  |
|                      | 再生可能ディスク             | 音楽CD、CD-R/RW (CD-DAフォーマット記録ディスク)   |  |
| <b>カセットテープレコーダー部</b> | トラック方式               | 4トラック、2チャンネルステレオ   |  |
|                      | 推奨テープ                | ノーマルテープ60分以下   |  |
| <b>ラジオ部</b>          | 受信周波数                | FM : 76 ~ 108 MHz (0.1 MHzステップ) ワイドFM対応<br>AM : 522 ~ 1629 kHz (9 kHzステップ) |  |
| <b>Bluetooth部</b>    | バージョン                | Ver. 5.0   |  |
|                      | 対応プロファイル             | A2DP   |  |
|                      | 対応コーデック              | SBC  |  |
| <b>共通部</b>           | 電源                   | 家庭用電源 (AC 100 V 50/60 Hz)<br>単2形乾電池8個使用 (DC 12 V) (別売り)                    |  |
|                      | 電池持続時間* <sup>1</sup> | (アルカリ乾電池使用時)<br>CD再生時 : 約6時間、FM受信時 : 約9時間                                  |  |
|                      | スピーカー                | 1.5 W×2  |  |
|                      | ヘッドホン出力端子            | 3.5 Φステレオミニ  |  |
|                      | マイク入力端子              | 6.3 Φ標準プラグ   |  |
|                      | 消費電力                 | 16 W   |  |
|                      | 最大外形寸法               | 340 mm (幅)×152 mm (高さ)×227 mm (奥行)   |  |
|                      | 質量                   | 約2.2 kg (乾電池含まず)   |  |
|                      |                      | * <sup>1</sup> JEITA規格による測定値   |  |
|                      | <b>同梱品</b>           | 本体 (1)   |  |
|                      |                      | 電源コード (1)  |  |
| 取扱説明書/保証書 (本書)       |                      |  |  |

### 商標について

- BLUETOOTHワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, INC.の所有です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名、サービス名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では®、™マークは明記していません。

# 保証書とアフターサービス

## 保証書

- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

## アフターサービスについて

### 調子が悪いときは

この説明書をもう1度ご覧になってお調べください。

### それでも調子が悪いときは

アイワの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。

### 保証期間中の修理は

製品保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは製品保証書をご覧ください。

### 保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

## 部品の保有期間について

補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

# 製品保証書

持込修理

|        |                |
|--------|----------------|
| 品名     | CDラジオカセットレコーダー |
| 型名     | CSD-MV20B      |
| お買い上げ日 | 年 月 日          |
| 保証期間   | お買い上げの日から 1年   |

本書は、下記記載内容で無料修理を行う事をお約束するものです。お買い上げ日から上記期間中に故障が発生した場合は、ご記入の上、修理をお申し付けください。

●本書は再発行しませんので大切に保管ください。

|     |           |        |
|-----|-----------|--------|
| お客様 |           | 様      |
| ご住所 | 〒□□□-□□□□ | 電話 - - |

●ご販売店様へ

お買い上げ日、貴店名、住所、電話番号を記入のうえ、保証書はお客様へお渡しください。

|     |  |
|-----|--|
| 販売店 |  |
|-----|--|

## 商品、操作方法やトラブルに関するご相談、お問い合わせ

アイワお客様ご相談窓口：0570-062-312

## 修理のご依頼及び部品、修理品に関するお問い合わせ

アイワ修理ご相談窓口：0570-000-271

受付時間：平日9時～17時（土日、祝祭日、長期連休を除く）

※ナビダイヤルは一部の電話ではご利用になれない場合がございます。

ホームページ：http://www.jp-aiwa.com

アイワ株式会社 東京都品川区東五反田1丁目6番3号 〒141-0022

## 無料修理規定

1. 正常な使用状態で保証期間内に製品が故障した場合には、本書に従い無償修理をさせていただきます。本書記載の修理対応の種別（持込修理）をご確認の上、以下の要領でご依頼及び本書の提示・提出をお願いいたします。  
なお、受付窓口の種類は、お買い上げの販売店または本書に記載の相談窓口となります。

| 種別   | 保証書の提示・提出        |
|------|------------------|
| 持込修理 | 持参した製品の修理依頼の際に提示 |

送料はお客様のご負担となりますのでご了承ください。

2. 保証期間内の故障でも次の場合には有料となります。
  - (1) 本書の提示が無い場合。
  - (2) 本書にお買い上げ日・お客様名・販売店名の記入が無い場合、または字句を書き換えられた場合。
  - (3) 保証期間中に発生した故障について保証期間終了後に修理依頼された場合。
  - (4) 使用上の誤り（取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った正常な使用をしなかった場合を含む）による故障・損傷。
  - (5) お買い上げ後の輸送、落下などによる故障・損傷。
  - (6) 火災・地震・風水害・落雷・その他天災地変、公害・塩害・異常電圧などによる故障・損傷。
  - (7) 一般家庭用以外（業務用など）に使用された場合の故障・損傷。
  - (8) 他の機器から受けた障害または不当な修理、改造による故障・損傷。
  - (9) 消耗・摩耗した部品の交換、汚損した部分の交換。
3. 故障の状況その他事情により、修理に変えて製品交換する場合がありますのでご了承ください。
4. 修理に際して再生部品・代替え部品を使用する場合があります。また、修理により交換した部品は弊社が任意に回収のうえ、適切に処理・処分させていただきます。
5. 本書に基づく無料修理（製品交換を含む）後の製品については、最初のご購入時の保証期間が適用されます。
6. 故障により本製品を使用できなかったことによる損害については保証致しません。
7. 記録媒体を搭載または使用する製品の場合、故障の際または修理・交換により記録内容が消失等する場合がありますが、記録内容についての保証はいたしません。
8. 本書は日本国内のみで有効です。（This warranty is valid only in Japan.）

## 修理メモ

|  |
|--|
|  |
|--|

- 本書はお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 保証期間経過後の修理につきましては、取扱説明書等をご覧ください。